スマホでベンチ
（スマホで集める可動ベンチ）

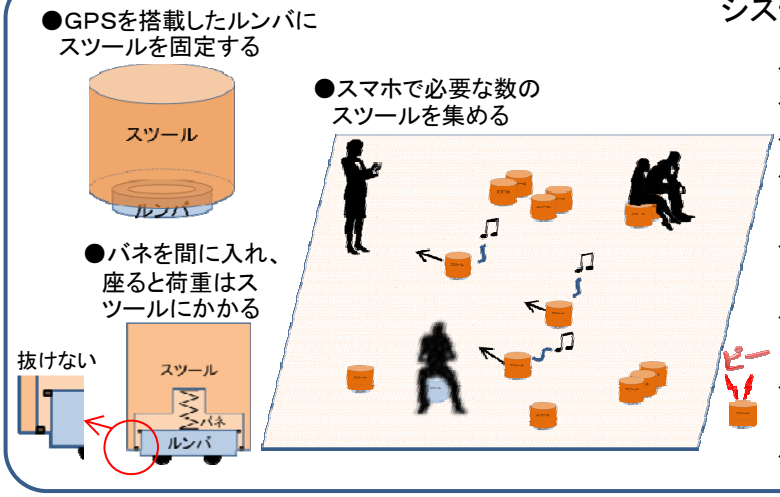
失敗学会大阪分科会
八木基紀、原道彦、岩崎雅昭、佐々木英三

目的・動機

広場に3人用ベンチが複数置かれているが、お一人様が使うと多数の人が利用できなくなる。
一人用の椅子を移動できるようにし、必要な人数分だけ集めて利用することにより利用効率を上げられると考えた。

当初床に網目のレールを敷設して椅子を移動させる案を考えたが、ゴミ詰りや盗難防止等で構造が複雑になり断念した。
テレビで自動運転車のニュースを見て自走式にしたらいいかも、そうだ！**ルンバ**があった！**スマホ**も！！

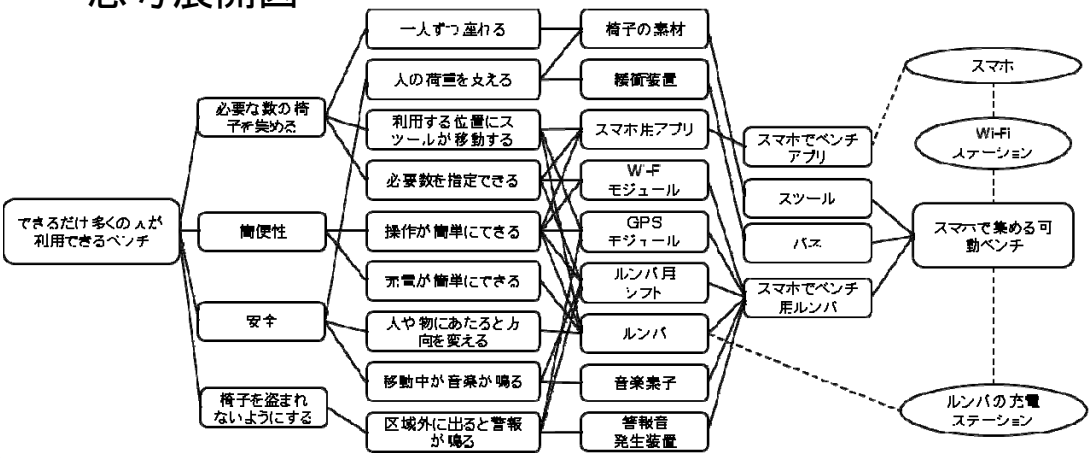
イラスト



システムの概要

- ◆ スマホに“スマホでベンチ”をダウンロードする
- ◆ 必要な台数を設定してOK
- ◆ 要求数の最寄りの未使用スツールに指令され
- ◆ 要求のスマホのGPSの位置情報を目的地して集まってくる
- ◆ 移動中、音楽が鳴り障害物に触れると方向を変える
- ◆ 停止すると手で軽く移動できるので好きな位置に並べる
- ◆ 未使用時、自動で充電はもちろんついでに掃除もしてくれる
- ◆ 盗もうとしても範囲外に出ると警報を発信

思考展開図



ルンバを部品レベルに落として展開図を簡略化してしまいました。良いのか悪いのか？

結論（問題点）

- ➢ 自走式で自動運転車とカーナビ（GPS）を思いつくと盗難防止など課題はどんどん解決できた。
- ➢ ルンバをそのままは使うべきでないかも知れないが、駆動機能がよくできていて無駄な思考展開が不要になった。強度の指摘もバネ式のアイデアでクリアできた。屋外での課題はまだありそう。
- ➢ GPSの発想からスマホでアプリを使って呼ぶことは簡単に思いついた。
- ➢ ルンバが5万円程度なので50台規模で5百万円切れそう（100システム程度売れれば）。
- ➢ ディズニーランドにあったらうれしいかも！